一、全國的覇権の

「ロンドン七日愛電」ロンドン会 大の歌劇と目されてるた然水電脈 は日本 では日本 は日本 は日本 は日本 は日本 は日本 は日本

行に就する一片の形式に過ぎず、ド首相は八日一旦廣京後又刑邸に「他へ正式會議に於て全感殺が」「ロンドン七日發電」マクドナルのと見切を附けたものと

次官河田烈氏試筆

南京覇権の凋落

北支及東三省に及ぼす影

近するに何のこ

新見想によりて解論するから」 「お話し気はれるのは確文主義 が然らしめるもので、必ずしも

の食見は本日一回のみとなるものとなってあるが、ヘンダーソンスさものであるが、ヘンダーソン

潜水艦廢止主張

英は斷念す

日佛の方針に鑑みて

水艦全腰は間壁にせぬ方針である

英首相こは

四目的に 取職緊策を撤降

英は依然策を秘す

英外相我全權この會見に於て

我主張に賛否不表明

「鬼双八日頭電」米國に務長官ス て日英米三國の軍権代表の誰が

ン海軍會議は 日から開く ひを了る

交涉成立安南國境條約

は北平七日設置」 佛支安南國境係 通過税二分を一分に引き下げで標 通過税二分を一分に引き下げで標

支那全權赴露期

十日ごろ哈朗賓出發

服教学品の成率低下に就いては相 に於ける側側の主要質易品たる高 に於ける側側の主要質易品たる高

満洲里への

の三浦氏

拓殖事業振興

見選人に陳まれ版法

金融機關を新

拓務省にて

重要會議

総は温暖の態味を のでである。 に要称するに至らの状態を でである。 でいる。 でい。 でいる。 でい。

腹を決する話め先づ前記各金融機 腹を決する話め先づ前記各金融機 をできる事となったが実皮切として たちをを

「ハルビン神像八日歌」権支石から二十日の地脈に在る熊梨脚艦の ため西部隊補州里までの開選が駅 地震の

氏は夫人同代同船に既長より外郷省に衆戦

丁る内閣直顧の編集會設置並びに東京入日發電」豪業合理化に開

論言の答申に基き各種企業

南院羅鎖、民間代表者を**委**館只

唐氏 野を表明 閻氏に對

れる、間氏は之に黙し腔節を見へら氏に黙し下野を表明したと個へら 原生智氏は前後に極を受け郷に臨 一司法官の船がの多級網とる時間は一種した 司法官の 間氏出動に時局一變

ると共に製油氏に部下を見難し命

數は定住

昨年の移民八十七萬

を示してゐるが例年十一月取四千餘人に上り劉五五%の記

名士を乗せ な太田長官語る るか判らい らる丸の賑かな船出 一務打合

兩機關を設けて

出て行つた

△スペロインを伺服 た巧に小便にさる強 たがに小便にさる強 がして一時が、の略 が

產業合理化

産業審議會ご産業局

大蓮市浪漫町

特約店

三六甲

及ばない。 学員の附睾を陰衡

走

よりして機能は、一般に関係されに関いたらしく、場には運転競技で現かれに関いたらしく、場には運転競技で現かれ無利を殴り

五昭年和

武昌丸歸る

日本工場機能神奈性

で微刻戦一同大喜びで代方面の低大国で採用することになった

本態支配人ペンジヤミン、コファの飲となつてゐる、右につき日

けふ天潮丸も入港白河の凍結で離航を積けて

く呼激船の力をかりて機

R

於つて

活で坐洲

滿洲學生陸上競技大會

松っないといふがしさで、文献人がもないといふがしてで、文献者のうちにたと、被者の一般なの情をが、対してある、教育の一般なの情をが、対してある、教育の一般なの情をは、対しているがしまで、文献人があるいといふがしさで、文献人があるいといふがしてで、文献人がある。

宮の台覽を仰ぎ

四月、發會式を擧ける學生聯盟が

はなり

神動抗選手術大會は本年は特に映 神動抗選手術大會は本年は特に映

八日入棚し本日に至づて本単最初して東たものである、なほ六日入

約一週間を難し際く入階

の本版に残し、風り別が

を動物を動物を開き 交別版下の機楽率を開創に、版下 第一回 大倉をはなくし 大倉をはなくし

ある、関船域の既によれば白海本 め込んであたものだが、の天神からの入場船を見たわけで 倉職に鑑釣りに出掛け太

倉雕に修的りに出掛け太公服

ド日本工場でも

佐業員は大よろこび

各方面から羨望の的

既兵式を御統裁 召させられ

阿片心

天皇旗燦として輝き、劍光帽影

こいと既職に行はせられた。 観光、帽影は代々木原鎖を配兵式は八日氣濃さ代々木織兵場に白雲の富士を情景とし東京八日發電」昭和御新政策五年の劈頭を飾る陸軍始大 れ々木原頭を壓す 能性下の御客を持ち塞つたこ 大元帥陛下

諸兵を臠せらる

職は再び「君

交涉全

決裂す

大相撲初日取組

任、網際局高井崎縣官臨破水胜したが阿片の分量少かったため女が たが阿片の分量少かったため女が たが阿片の分量少かったため女が

前瀬天敷立守御総長三島勝氏は強 に対した。な任告別式 は十一日年後一時から率天献立町 は十一日年後一時から率天献立町

三島大佐死去

オシ

無銭遊覧の

の男

十一日に告別式

使六時ごろ市内沙河口西町

ゼネラ

ルモータースの争議

千二百餘名失職

滿鐵大連道場

了しめでたく大鵬兵式を御紙線

無脚関に工場階襲しストラ の経料は支援はずといひ渡 の経料は支援はずといひ渡 時に提奨して、これが 時に提奨して、これが 時に提奨している 意大な社会 なり言語でも頭を懈まして。 近の人達は「正月から職下の姿を一度も見ませんが網領では無いでせらか」と大勝に難し非常に横幅

つるやっ

の仲居

おたつて日曜日も休まず柔頼道の 十六日から三十日まで約二週間に から三十日まで約二週間に

一室死

大阪市西區職業新地二番町二十一大阪市西區職業新地二番町二十一人一大阪市西區職の職員トをならは十二人一大阪市西區職の職員トをならは十二人の大が、八日朝紀職として實資に働いてるたが、八日朝紀職となってのたが、八日朝紀職となってのたが、八日朝紀職として實資に働いてるたが、八日朝紀職となって 春日町の自宅にて 死後十數時間を經て發見

既に十五六時間を認過して居り、 既に十五六時間を認過して居り、 ではなく、全く 互斯の ため死んだものと 1条部とも機関された。同部をは残い席であり、ガスり各部とも機関されてあり、ガスリチをからをからをから、ガスリチをがある。

いったといってあるから自称ではなく全く過失の電域死と見られてる。 、因に員人は一年程前から夫と る、因に員人は一年程前から夫と

大連署衛生係

外別の特定 外別の特定 外別の特定 外別の特定 外別の特定 外別の特定

支那語、獨強語の各和等類に入事 五日より新學期を開始するが英語 五日より新學期を開始するが英語 五日より新學期を開始するが英語 一 本内教島町

家庭研究所では八日より三月末日 まで郷二十三回家庭我歌殿教育を まで郷二十三回家庭我歌殿教育を た記録定により開催、希釈者は発 無申込まれたいと 無申込まれたいと 無明とまれたいと 無明とまれたいと 無明とまれたいと 無明とまれたいと を発 一月八日より三月末日盗 生花 中科日一個 生花 とのでは、一月八日より三月末日盗 とで変」一科日一個 生花

話

4702

沙河09433 夜间用3628

代五銭で預かると

東で行ふ物であるが、愛頭特山田まで行ふ物であるが、愛頭特山田まで行ふ物であるが、愛頭特山田まで行ふ物であるが、愛頭特山田まで行ふ物であるが、愛頭特山田まで行ふ物であるが、愛頭特山田まで多数の來場を観響も少しなず多数の來場を観響すると 店商松島局藥橋本日

製造販売

Ę

家庭手藝講習會

家庭用として 各種 日支公司 電話六七四八番

20 6 1 100

酒 食 料 000

昭和五年二月八日と御禮申上侯在瀬中の御怨情感佩に不堪乍略儀以紙上厚

同木

部

る守

むろ 東京風菓子謹製 名 あ 物に豆 是はうまい お飯の友 (京都山城の飛製風味は) (n)

酒渍 日本各地名 くさやの干物 玄米入宅の番茶 物

場割に浴して驚く天皇族の向ふところ南部脈入院の歌教

支場に集合を開始し、午前九時十 東郷の下に午前八時より振動歌人 東郷の下に午前八時より振動歌及の 海、林近海、巨崎第一勝動劇長の 海、林近海、巨崎第一勝動劇長の 海、林近海、巨崎第一勝動劇長の 海、林近海、巨崎第一勝動劇長の

初緑」にお召の颯爽たる聖上の御英姿

船の援助を求める事が出來ず幾日 **開票き船舶は途中氷綿しても貯氷** 年の凍綿は實に基だしく無電の護 状態にあると 状態にあると

自ら問ひ自ら答

悩みの日をおくる 鎌倉の別莊に淋しく春を迎へた 朝鮮疑獄の山梨さんー

とては発どなく正月元日かりとては発どなく正月元日かり 大雅自身もこり 戦が起訴されてからは訪れるもの 一様つてるる、新聞記者の隙間は残損の管理を消しがらせてゐる、大 して来るべき戦正なる説の競きを謝悉がした。 こと除いては親しいは散歩は娘歌

職、特に本年度は更倫別分に手を をお、提索の事業の銀行改善は例 たが、提索の事業の銀行改善は例 たが、提索の事業の銀行改善は例 の初會議

台所大七

M = 0000

花

能はら屋花環店

種。傳染病患者の家族の取締 (集計画) 私設上水の取締、家然禁止) 私設上水の取締、被決配業の取締、被決配業の取締 (集計画) 本税権例に行ふ、前犬 (事) 本税権例に行ふ、前犬 層の努力をする事を申合はれてるた左祀の仕事につい

る元の差

ゴム長

靴

特

賣

ゆふべ小崗子に 百么

FOO.

事夫社職職(き)に七日午最大時四 辻强盗現はる 馬車夫や自動車運轉手を脅迫 犯人は支那人小使

防寒用裏毛付 二千足限り 二千足限り

は、 ・ で大格略のうつ。 ・ で大格略のうつ。 ・ で大格略のうつ。 ・ で大格略のうつ。 ・ で大格略のうつ。 ・ で大格略のうつ。 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ をいいい、 少々 ・ かんでは、 ・ をいいい、 かん。 ・ では、 ・ をいいで、 ・ といい、 かん。 ・ では、 ・ をいいで、 ・ かん。 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ でも、 ・ でも

連日連幸

は十日の終日汔御座いますマキノ俳優軍の舞臺御挨拶

入滿員





L

長

靴





4309

電



1

慉 車電町渡信市道大



場(武

最新秘薬特殊流經劑

神速観二時間三十分が 一時間一銭以内 を 登組・金四 が金三段 の

して監会其他の不管既然を歴止し取時趣偏に離れすべしと命令「月一日より開発自主實行に決してゐるが、各省政府は其前提「北平七日發電」限民政府は全國各省政府に難し中央政府は来 ひなきものと見らる た。之を以て見るも支那が二月一日より國定就率の實施は萬々

型5に前年同期に比較 数数数 人公分階 人公分階

宜しく敷かざる

生活に精進せよ

満洲財界は行詰つて居らぬ

既に十數店に及ぶ

海關收入

一般と観客な物質を有つて居る、故 に現在の観点状態が確合へ祝と云ひ に現在の観点状態が確合へ祝と云ひ

の人口が百萬二百萬になる。 数式しも適い解釈ではある。 種の飛調「自己を振かざる。 日な生活」に精進すべきで

【北平七日録電】銀相場認案のた に低素する一方にて支那技典器を 者に於て有力な観察者の敬意せる 者は事實上三朝五分都くは四朝の 本年に入り館か数日間に北平、天 人は物情態費に悩まされ解散生活 者は事實上三朝五分都くは四朝の 支那經濟界の恐慌

奥地商人達の

意見をも纏める

露支の紛擾で

正隆滿銀惠まる

である、なほ画氏は十日前後最適 を正確で排中の経済は対した。即である、なほ画氏は十日前後最適 を正確で排中の経済は変配を行う。 をできるの参加を指する南行監督を 加に費金の参加を指える南行監督を 加に費金の参加を指える南行監督を が作年同郷に比し遊かに増出る が作年同郷に比し遊かに増出る が作年同郷に比し遊かに増出る が作年同郷に比し遊かに増出る が作年同郷に比し遊かに増出る を変したが、同か中の各行変数を がは、る南行監督を がは、る前のである。なほ画氏は十日前後最適 を変める現象を招楽した。即である。なほ画氏は十日前後最適 である。なほ画氏は十日前後最適 である。なほ画氏は十日前後最適 である。なほ画氏は十日前後最適 である。なほ画氏は十日前後最適 消費組合問題につき

づれも收益増加

日であるが、その結果同間では大道 告と使つて全補通難脱合會に重大なる場像 を関き運動方法其他を検護する皆 を関き運動方法其他を検護する皆 を関き運動方法其他を検護する皆 を関き運動方法其他を検護する皆 を関き運動方法其他を検護する皆 を関き運動方法其他を検護する皆 を機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して順管員の機能である。而して関係を対している。 けふ商議で運動法其他協議 一個で、他主子概まで野力するに発 では、めらずや非常な成果を働す こと疑ひない、されば似は現在の で、成は行き設つて居るとも思は ない、共過去に於て触りにも無郷 ない、共過去に於て触りにも無郷 ない、共過去に於て触りにも無郷 ない、共過去に於て触りにも無郷 ない、共過去に於て触りにも無郷

現の中心市場たる大道や率天などであって、狭して清別のみが緩かである職ではない、清別観点が

大連小賣商店界の前途

團體の力に依り其活路を拓け

手形交換高

金銀共激增

の匡教として

野力を挑はねばならん。

である。駅内は低級なた機能行政管 ・ 選通せしむるの無国を機能を作業をして である。駅六に転発管製者を退むして である。駅六に転発管製者をして である。駅六に転発管製者をして である。駅六に転発管製者をして である。駅六に転発管製者をして である。駅六に転発管製者をして

所見の一端を述ぶ

F

E

聚してドウ云ふ部果を探索するでは朝野興味の中心となって居る。

募 特約店

100

地市况歌

アイロン界。大革 一組のガソリンでコンロを

廢止を各省政府に命令 國民政府は愈る來月一日か 新國定税率の實施に疑ひなし

釐金その他不

當課稅

谷品好調銀價の暴落で

周郷の操作を以て配合し 戦なる規形域に線を検 がなる規形域に線を検 がなる規形域に線を検 でもし、一般良有 でもし、一般良有 でも、一般良有 でも、一般のでも、一般良有 でも、一般のでは、一般のでも、一般のでは、一般のでは、一般のでも、一般のでは、一般 化學工業博覽會銀牌受領職東京博 · 新和洋西食料品店·養店·轉貨 Ser. 健胃補血興奮作用卓絕 香味色佳夏滋養力值 ミツワ石 ・ 戦略して居る人。 ・ 戦略して居る人。 ・ 戦略を確め直のだった。 ・ は戦略をある人。 ▼加斯人は直接 株力が減り元気の無い人 規那鐵葡萄酒 のもツワ州和織葡萄 に催って、一 酒を用ひらるべし 一・下側のおく様いて居る人 ・ヒステリーがに関ふ血の ・ヒステリーがに関ふ血の ・ 動様や視様の変縁を早く 機能したい人

衛場は 工事の御用命は 高高 石 商商

称小野 井木 共同建築事務所 紀伊町建築協會三階

花しゃがに スか水好もれ他にカる好た

のみのコバタ

口本或歸跌大連出張所

鲜那船株式會社大連代

■阿波共同汽船

(四)

平

安

香

(219

マリン「炭烷」を上映し海殿では ・ である。また洋磯では間壁 ・ である。また洋磯では間壁 ・ である。また洋磯では間壁 ・ で変中 ・ で変ー ・ で変ー

六日封

切!!

谷崎 十郎助演

日

封切

大保水滸傳

荒単マキノ智子

●開鮮養日本 | 大小海道 有 | 長崎道

門日清汽船

大阪商船餘武大連支

(2) (2)

川日本郵 三近海郵船

Ü

體白山

つける

パそロット高級馬車筆

(日曜木)

申はに込直あ

初版は

鎌告で共に賣切れ

主日幹支

姫野徳 著 最新刊

版・三版を増刷して な發賣

世間への抗議

大変のはと 島居 孝子

內科專門

安富醫院

電話八五〇〇番

大連市浪運町四丁目 (周芳等)

趣味のかたはら

花小內

柳兒 病兒 科科科

光烟器院

以金成功列傳 辰野九紫 异物語 (思·縣) 山本照夫

良い路底は キッコータッ 文法をはなる

為鳥羽洋行

觀社會式來看研本母, 石砥砂剛金 廊在法寸各

な社會施設の色々……

建造中海雪

下さい

密新入荷品

▶ふ乞命用御す荷入數多記上◀

製品で、 世界第一、 良品廉価 但未被由 型正不 Ī 東廣洲龍 大类医生物学 國際口族戰敗 尼語言 美企返石便平 田 東江東井田 時 時時 計事件等計計 保存行行協議

人をつける(計) 小松田剛多の死…………(間) 渡邊羊太郎の死…………(間) 渡邊羊太郎 · 州C#力夏川静江 市人形中田信子 一州C#力夏川静江 **第**現及第 SYNTHEMETERS.

話

支店所在地

施家屯、共聚、吉林、秦斯、太美丽、安康、皇帝传

FON.

資本金 壹千 萬

大連市伊勢町六十九番地 頭取 滿 村井 (代表)四二二二番(大連)三三〇二

大連市紀伊町 重油車軸油車車車 テキサコルーフイ 製印ポイラー 野五 元** まる はいこと

朝各煖石 種房綿 日 川 果 在庫豊富多少に拘らず御用命顧ます 保各 煙キング ッ 大連市条町十五番地

印刷 不 東亞印刷 戲大連支店 大連市近江町 活版·石

政友會の選擧策

を開発して製物に影響中の大楽徳、 を開戦しな数の情勢を報告して を開戦しな数の情勢を報告して を対域しな数の情勢を報告して 他会其他三、四名の選事を設け いて製盤せしめ更に各地方断弦に 他表に変量を助け木部をして之と 連続せしめ過ばなきを引きると 連続せしめ過ばなきを引きると 連続せしめ過ばなきを引きると

米は自國のみの

満鐵の事業單純化傍系會社は整理し

村を圖らず

米大統領のステートメント

我兩全權

非上版相と信見した仙石機線 非上版相と信見した仙石機線 を四時丸ビルの東京支武にお

現有勢力保持を目標

るべく現職員に優先編を與へ検 補者の潜立を避く 、、七十名とし常選を鞭撃なら しむ

、劈有勢力機持を目標として成しては、

迷學廓淸審議會

官制案內容

委員の顔觸ほど內定

東京人日神電 1 共海院議員選事 指名する尚會長其職務を代題す 像後ステムソン長 を健た上、上奏御親司を得て 佐り内閣に於て之を合ず、幹事 と述べた協ステムを置く 内閣題理大臣の蹇請に 未園な歌舞を増せんと と述べた協ステムと述べた協工テム

なした 等 ナニ大した話でもない、 実態補別の最近の事情を設たのだ

たついての話はなかったく首相以下閣僚と同様

不だ決定しておない。

幣原外相議會で

對支方針を表明

相當に進歩自由的か

思ふが其話はなかつ

駐支軍の撤退に

列國は断然反對

支那から要求あるも

補蒙の支那馬の

奇怪なる運命の騾馬

が発音に

開に終て之を命ず、時記は上司 の指揮を受け広務に従事す が開、本令は公布の日より之を

神殿、木合は公布の日より之を 電話文 漫口内閣論理大臣 施行す。 施行す。 施行す。 一般の務定要官、川崎市法、 「日、中川支部大官、川崎市法、 「日本の大路の保護とは、 「日本の大路の保護とは、 「日本の大路の保護とは、 「日本の大路の保護とは、 「日本の大路の保護とは、 「日本の大路の保護とは、 「日本の大路の保護となったが一時中止する事。 「日本の大路の保護とは、 「日本の大路の保護とない、 「日本の大路の保護とない、 「日本の大路ののため今夜西下、 「日本の大路の保護とない、 「日本の大路ののため、 「日本の大路の保護とない、 「日本の大路ののため、 「日本の大路ののである。 「日本の大路ののである。 「日本の大路ののである。 「日本の大路ののである。 「日本のである。 「日本のである。

のことであるが十五日より移動で移動の延捌をして貰ひたいと

遼陽工

談笑の間に日英の

軍縮意見を交換

マ首相一流の外交策

残らず粉碎する 本の経験である。

となつてゐる、非戦事を合業な 第一千七百十七萬三千百九十二弟 大凡にはパナマ国河歌等も含まれ

(本語) (本語)

清極場試験主事ヲ免ス 石光 野 音楽員ヲ免ス

職東疆土木技手ニ任ス 関東疆土木技手ニ任ス 関東護幹部 泉 文三 巡査郡政委員會機配ヲ命ス 田中定三地

産婆試験書記す命ス 青護婦試験書記す命ス 青護婦試験書記す免ス 青護婦試験書記す免ス 青護婦試験書記す免ス 青護婦試験書記す免ス 青護婦試験書記す免ス 有田 宗装 毎田 清装 毎田 清装

米國陸軍豫算

者 【天津養】関続山氏は元氏から歌 べの日を送つてゐると保へられてゐた馮玉祥氏は薄膜から突頭 在津末政内 は蓋る 脱版反系の態度を急に是へた カんでゐる一方五臺山薫に優遇さ に配て に配て は蓋る 脱版反系の態度を急に是へた

(73)

では、様し内側の門岸が繋がされても、禁係件に外力の戦略に屈服 は、今職大三巴坊牌の名に依っては、今職大三巴坊牌の名に依ったが知られる蟹保証寺院の道址に見ても明らかである、それはエスイトが完成には

H 報

間氏の中 **附得の凄い手腕** 質は蔣氏擁護でない

を蒙る

の無法な壓迫に

せると通電し決して國民黨を脱黨 すると通電し決して國民黨を脱黨 者を討つとは言つてゐない、斯く

給料を 半減され

病抗・(線を加ぶる等を限りつ) 葉大なる間金を料し或はない。 関氏・(線りに酸ロして市場の立合 関を加ぶる等を限り、 ではない。 で

地亡兵が續出す

【吉林愛】東三省に於ける各電政 機關は從來在奉天、率吉黑電政監 中國東北政務委員會の職決を經て 東北電政管理局と改組すること」 なり同時に顧宗林氏を護局長に任 かかのした旨最近吉林電政艦 がある。 一般の指揮命令を受けて居たが、 一般の指揮命令を受けて居たが、 一般の指揮命令を受けて居たが、 一般の指揮命令を受けて居たが、 一般のという。 一般のといる。 一般のと、 一般の。 一般の 電政機關敗組

と称りる三支ける兵力と続きし共元

出航機備を「るものは目下のところ中の子學点」千三百元となった。配

山海關の于學忠軍

名別 スク田来主
中書 郷東の スク田来主
一 東印 の側用命は 青野町 一葉堂 電七八五九番 歌 強 高展 は微速可給水 ライト高質節に吸る ・ 一一へへヨイイ 等 安鄉服の學館有日本監察 電話三五八四番

薬及治療 五川

ラデ

ラデオは阿でも大量地

学乳 パタークリーム 海洲牧場 電流三六七八 電話三三八五・三六七八 常報機関すし 電話三二八五・三六七八 常報機関すし 常報機関すし 常報機関すし 第一条 大海牛乳 水タークリーム

牛乳

深内

治。

私

か

を

クサ 東連町五工 競響 が及順

北省生れ栗白氏へこと属す

女の阿片

開催することに要更された がリンクの都合により二月二日に がリンクの都合により二月二日に は二月五日開催の豫定であった。 來る二月二日に開催

※先の門口に停車せしめてみた處於の小包配送馬車が城内四至衛に於て小包配送のため二分間ほど配めてあた。 日本道信夫 侮辱事件 郵便貯金 緊縮の聲の影響

本学天郵便尉における十二月中貯金 関連によける十二月中貯金 関連によりる一千四百州 一世記場上三萬九千七百十九国に連 で前年同期に比し問題以上の増 で前年同期に比し問題以上の増 で前年同期に比し問題以上の増 で前年同期に比し問題以上の増

四時項右側印館に住込んであると 不識の眠あるに気付きその 町の

で職率することに製更された機関事は九日十三時滞後準備

▲山内滿綴監査役 七日朝 ▲菊竹鄭家屯公所長 同上

七日午前六時半頃率天輝において季動怪しい一支那人を警官が認った。身體に阿片を健安した彼は王光先してあるのを發見した彼は王光先

第三熔鑛爐竣工

來月中旬火入式學行

大分市の附近に大連と云ふ村が 「三間無退いた。するとばさりと 関 がらその池で続いだり釣りを かれた瞬間をに打ち掛げられ頭の も であらその池で続いだり釣りを かれた瞬間をに打ち掛げられ頭の も でからその池で続いたり釣りを かれた瞬間をに打ち掛げられ頭の も でからその池で続いたり釣りを かれた瞬間をに打ち掛げられ頭の も したら行客が知れなくなると云ふ 嘘の水をこばしてしまい力がぬけ 分 ですった。 手戦を曳いて対に下り殿を形に立 ので村人はそれは河童のしわざだ と大震恐がつてるた。 / と大震恐がつてるた。 / 岸に下り馬を打に立一「何卒命ばかりは助けて下さい、暮一人の馬子が馬の」しよふとすると、河童は手を合せ 院選してゐるのを設見し直に を行ふと空室材稿に阿片六貫 を行ふと空室材稿に阿片六貫 を表記を室材稿に阿片六貫

語 たせ洗ってゐるといきなり手服を

澤田生

取被下度、不足の分一個は 関この男に持続させ候につ 関この男に持続させ候につ 馬子は鹿を馬につけ時をいしまつた。

するため数千の肥馬を野に放ち一 であるため数千の肥馬を野に放ち一 であるため数千の肥馬を野に放ち一

で かんとき、 厳しは武道の かんとき、 厳しは武道の

野であるが 新年の標準として且又規能の意味 に 於て在出有志に供り窓記せられ たる確全會は五日正午よりの外親 十名分食を共にして和類語 <種に 十名分食を共にして和類語 <種に 入

麻雀會の盛況

郵便局の繁忙

春風秋雨豊百年そのときから此 の底に終をつけた脳の数が見え るばかりか、城主の沈んだ大月八 たへられ、里人はこの池を漏見の 地と呼んでゐる。

高木西村の 兩氏表彰せらる 日本産業協會より

解同代語氏政支影響が限長平井然三 新代語民政支影響が限長平井然三 大は六日午前十一時三十八分金州 大は六日午前十一時三十八分金州

入十二萬六千九百九圓九十二鎮、 掘出が五萬一千六百三圓八十三 を収扱つた、通常郵便の方も年 を収扱つた、通常郵便の方も年

石川支店長赴任

西治肺を除着なくされるのも通

三郎氏と、大松號の名稱で遠隔を 順に氏を問へば氏は起離の蔵持で等の公職に努力しつ」ある高木像 り人で未曾有の解説であった、職進する焼ら電災動散會長居閣民會 膵臓立錐の絵地のない多数の見滋懲婦級内で計除年貯蔵物質息に滞 件裏書の監に返られて赴低したが激婦級内で計除年貯蔵物質息に滞 件裏書の監に返られて赴低したが

十餘年の長い間の金州生活は忘る」とことの出来ない第二の故郷と言ふべきであつた。幸ひ長年の公私の援助に依つて得たる端の信念を以つて至誠議政の一場に 着りたいと存じます。 今回背島支店長に発験せる當地内 前入時三十八分の列車にて象数同 である

校では来る十日より二十四日まで二週間講覧に於て久元表師指導の

小學校義士會保險不

小學校寒稽古 當地小眼

出初式の壮觀

安 一日八時代の田邊民政支糧長は來る九日 をして緊蜒の河野占男氏は來る十 として緊蜒の河野占男氏は來る十 として緊蜒の河野占男氏は來る十 として緊蜒の河野占男氏は來る十

一個政元料三十段につき同野

鴨綠江の氷上に バスを運轉 道當局も賛成調査中

一大日午後七時四十分頃。 一大日午後七時四十分頃。 本四人組の原城職人教養を競った で家人を職職金品の提供を建った が、家人の一人が園室に逃れ急を が、家人の一人が園室に逃れ急を

寒稽古始まる

今日の来内(九日)

の新年宴

を で は で が で か る

牛莊派出所主任

林署長の挨拶

本年の元日は歌しく歌まれた

度ひつめ者の実所と心组 解決地とし過剰人口のは がある。

大に行き取って居る事實でありま 神足させる絵地のない所である。 かんに行き取って居る事實でありま 地である。我々の鑑賞的な影響を こんに行き取って居る事實でありま 地である。我々の鑑賞的な影響を こんに行き取って居る事實でありま おものがあります ました土 も

荷も木の ある青少年では 我へ

この圏の一般が海の外へ

イギッスの職民地郷際には沿々と称ったぎのよぎられるものがあります

英國植民地功勞者列傳

松花江上の橇

1 語ではされた把製と云ふ)の通行が盛んで、吉林省域と地方との經濟上に往れる上に把製の縮記すべき程量が関かれる【寫真「上」は其の把製の組成と地方との經濟上に往する」語ではされた把製と云ふ)の通行が盛んで、吉林省域と地方との經濟上に往する。【吉林愛】無年十二月初めより三月中旬に至る松花式の総氷期間は氷上を儲く変

上」は其の把薬の個屋の院内「中」は松花江

行で官民多數の見送りを受け出設たので七日午後二時二十三分設命

出初式の順序

シガン研究の鳥め出張を合ぜられ、
東氏は南米へ四ヶ月半液電酸素マ 東氏は南米へ四ヶ月半液電酸素マ 東京の鳥の出張を合ぜられ

久留島氏外遊

日暮しの出稿人根性の風の吹いてに見地に片べたる。情ない、その様とい、その

感心する如

見撃する豫定である
・ 質素協会では七日午後六時より会認に於て會員の新年宴會を留したが先づ加廉會長の被拶あり全したが先づ加廉會長の被拶あり全

城を捕へた

海銀總統仙石貢氏はW山在住官民 多數を十五日午後去時より職闘子 選続新琴駅に招き新年宴會を開艦

本社主催録道部後機の全種磁泉腫

製鐵所見學

中であったが概念の含め早配子(のおり) でなし同日医室 (本の小夏物質を地域的に主る版明市の小夏物質 (芸されたと、翻訳として、先づ版明新部門として、光づ版明新部門として、光づ版明新部門として、光づ版明新部門として、光づ版明新部門として、光づ版明新部門として、光づ版明新部門として、光づ版明新部門として、光づ版明新部門として、光が版明を地域的に普遍域等 事務所長、佐竹地方委員副長市氏 は山口昌画地方委員副長市氏 は山口昌画地方委員副書長市氏 は山口昌画地方委員副書長市氏 は山口昌画地方委員副書長市氏 は山口昌画地方委員副書長市氏 は山口昌画地方委員副書長市氏 は山口昌画地方委員副書長市氏 は山口昌画地方委員副書長市氏 は山口昌画地方委員副書長市 (本田) はいまれた は山口昌画地であったが七日十七時三十一分着 流流 は山口 (本田) はいまれた は山口 (本田) はいまれた は山口 (本田) はいまれた (本田) はれた (本田) はいまれた (本田) はいまれた (本田

ベルメル

る程

間にわきま



美しい黑髪に染る



嬢子靜 柳青 胛



嬢み き

原質性

投票された讀者に抽籤で賞品を呈します。下記の規定に依て投票して下さい、投票の多いのを一等としこれに選に當られた人です、讀者諸君は何れが一等美人だと思ひますか、縣下の代表美人として推薦された內審査の結果一等から拾貳等迄の縣下の代表美人の寫眞は日本電報通信社主催で全國三百新聞社が各府此の拾二美人の寫眞は日本電報通信社主催で全國三百新聞社が各府

定

漢者氏名は一月下旬本紙上に殺裘人 阪 電報 通信 肚縣 賞保市北原中ノ縣

品

個宛

Ξ

人人人

IE

 \equiv

規



健康になられます。 思はるる点が少しでも御座のましたなら、 いず若しあなたのお子様に發育不充分だと 母の子に對する愛程眞劍で純真なものはな トーゲンをお奥へ下さい。キット

いますれば常に健康を保つ事が出來ます。又お母樣御自身の滋養としても御常用下さ ますれば常に健康を保つ事が出來ます。

滋養第一のこなおちょ





攘代 鈴鳥大京東

譲いす 黒石 屋古名



養血の療法は米園のミノー、マーフキー二氏により登見せられ従来用ひられた鎖、砒素、血液素等の時代はながった。 おかけ となった、 はかるに至る夫故病後、産業の時代となった、 しかるに至る夫故病後、産業の時代となった、 しかるに至る夫故病後、産業の時代は しかるに至る夫故病後、産業の時代となった。



嬢ミキ 足大 明 2





歌論リゼンニクマキー集

後、タオルにて油分をお拭き取り下さい……を薄くしいて圖の如く顔面をマッサージしたを添くしいて圖の如く顔面をマッサージしたのではない。

妻へる 動たら美貌も 美貌は女の命 5

店商吉友澤藤 二可修道板大



壤江 靜川 夏 麻



鑲枝 初村木 煎





無之艶よくする 純粹。椿油

権成ある新 くなつての手術より





嬢子のま中田 館

で、西洋祭の二長調だと思ってゐるのと、メロデイーが二雷に始ってゐるのと、メロデイーが二雷に始らてゐるの

去年の大連長唄界

オクロフオンからこの機械に が想められ、実構で摩を 順節し ます。

▼ Movieola トーキー網影後、
▼ Movieola トーキー網影後、
▼ Movieola トーキー網影後、
▼ Movieola トーキー網影後、
▼ Mo Bottom 職の底がない。ナーない。Bottom 職の底がない。ナーなはち、低間が酸れてゐるときのない。カーなってゐるときのなってゐるときのなってゐるときのなってゐるときのなってゐるときのなってゐるときのなってゐるときのなってゐるときのなってゐるときのなってゐるとき。

す Wild Shots 特響なしで撮影 高州では海より名を買ふとき したときのことです。 したときのことです。 したときのことです。 したときのことです。 したときのことです。 でもありません、それで、いよい と がある。 と 一十一の撮影所では、和常に 国宝 来る神描きが年々多くなつて、 で もありません、それで、いよい 人 本が二十名も「鑑賞」したこよ 撮影となると、触が三つ鳴りま がある。 ま がある。 かったと思ったら、値を一つ鳴ら が の如きは 大連だけもそれ等しま シーパーで質に 脱重な 監査を励をして やって、 海楽書の 発伸ばしをやしま シーパーで質に 脱重な 監査を かったと思ったら、値を一つ鳴ら しんが聞さらなれば 仲々思ふやら あますが。もし、一行でも 解析 人間 マる。 それ等に 取て 入ったと思ったら、値を一つ鳴ら しんが出て来る。 それ等に 取て

君が代は洋樂でな

の たっと、なくなったやうである たっと云へなくなったやうである たっと云へなくなったやうである この會は戦争難り特職で、端日季 この會は戦争難り特職で、端日季 この自然を 辞合し

▼Shorts できの拙い器の ピッタリと合致するやらに撮影 する過程の する過程の する過程の できる機能の できるがなるやらに撮影 四 と云ったら歌術 と云ったら歌術を買ふのでなくて名を買いなら神は萬青さんの。 本ものでもよい、東京美術器の名を鑑いて来

サウンド模様

油村水太郎 水太郎

滿洲美術界展望

内地の繪描きへの返事

のものである。 日本端にもアマチュアは居る。 君の如く。然しその他は四君子が が多い。何と云つても満洲は洋鑑調栗 が、なっても満洲は洋鑑調栗 が、から

今

津佛國理

學博士

發

紙

類

直

輸

商

大阪

市東

人寶寺

町堺筋

北

社式







本

舖

今津化

蚊

効能で賣れる

株洋日乾富王 式 本 士子 會紙製製製製 洋社類紙紙紙紙 丸、株株株株 王直式式式式 商 會會會會 店輸社社社社 岡 出出代代特特 張 理理約約 所入店店店店店

本

札東電振 幌京市 東京話 受 ロ 一本

電話長船

連 市

萩土

商地

信略號オサ版を話長船場ニニ五 ヨの町場

入

受振電

八

生活難から

青年毒をのむ

母親に遺書を届けて

初音町の路上で

片割を逮捕

スケーテング

| 名は乳球 (二十五 方より標を織りが残したで、大きな (電子で) 大きな (二十五 方より標を の (地球) (二十五 方より (地球) (二十五 方より (地球) (二十五 方より (地球) (二十五 方より (地球) (1) (

本来通し直ちに大連各チーム代表者 本来通し直ちに大連各チーム代表者 本来通し直ちに大連各チーム代表者 を選し直ちに大連各チーム代表者 を選し直ちに大連各チーム代表者

協足をし締合東洋ホテルに使れをと其場で左の如くスケデユールの が記述しておきなり家人は心間して記述してあたが八日午前十一時間しておたが八日午前十一時間が開始のもとに持念した場所したのであること対明したのであること対明したのであること対明したのであること対明したのであること対明したのであること対明したのである。 戦も無く既軍の総制死を職るた事があつたが同工場も 昨年十二月中全浦日本郵便

獄舍になやむ 小川前鐵相

枯局議會解散にあひ

鞠の話

白い側話などもあるが、最近のは何れも変形より修楽したものは何れも変形より修楽したものは何れも変形より修楽したものは何れも変形より修楽したものは何れる変形より修楽したものは何れる変形と同じくその能

だと云ぶととである。その実践は京都の景鳥井子院について歌曲のことを詠べて居た感であつたから女の子が生れたといふ家からの電報を受け取つてすぐに名づけて扱つたのがゆ子でうります。

昨夜

本の五月、東京に於て奉行されるいが近所の人の職に一年機前に整って内地各地方の選手は早くもあり無関の総果他数の疑いをは、大き数日前に塗ったといとと歌に調されて思しばの機器を始めてゐるが漸洲側はかと九日早朝総内統禁官、農井と歌が開を始めてゐるが漸洲側はかと九日早朝総内統禁官、農井と歌ができまれて思しばの機器をから、東京に於て奉行で表示をなったであたが低く来る十日から適日午一部に附する事となったであたが低く来る十日から適日午一部に附する事となった。

てお客集め

(東東特電人B数)大相撲緊急所 を明日に拠へた八日午前十時から を明日に拠へた八日午前十時から を明日に拠へた八日午前十時から のため全市配負筋へ触れ太難は土 のため全市配負筋へ触れ太難は土

全満郵便局の 現金受拂成

後五時年より信濃町「吉景」に大会では來る十一日(土曜日) 崎縣人互禮會

年中は林翔の御引立を張り離有厚く御禮申上ます

重傷力

で負はす

建坂川だるまで

阪場が遊廓の夜警番に

歴迫の

十二日午後一時上

●雑盤線で製板が出来る ・対切れる ・出来た御板が一日帝にぬ ・運搬終が半減する: 許特 味がよい味がよりに質み Ė 出来る釜 東大阪市東 瓦電斯銀

集基店資販手一 どうぞ御用命の程を 本年の第一回入荷は

大連市大山通三
延隣リ 月晨川 ハナ・ノドノビョウ 醫学博士·森本辨之助 電話五三七〇四

中を解剖

年の出しすると非常な意無込みである。

と多くを語らず同夜十一時京城登

圍碁は

農業界

満鐵本社の

けふ宏濟善堂にて

大いに緊張 登場所は

上の電力が振場されるのである。 一向この外、名人大家の實験解説 語素、太閤春、長生、缺既活勢、 古名限り實費一関五十艘にて分類が不多者は張善東代不望者は張善東代不望者は張善東代不望者は張善東代不必等力が進場方面。 自つ記念の書め 変してカリ常費一関五十艘にて分類が高型者は張善東代不過、は、対争で申込めば代金引換変更に、対争で申込めば代金引換変更に、対争で申込めば代金引換変更に、対象を加入で換込むが又

界各國酒類

000

金線」で基が強くなる資格が充

東京風菓子謹製

たる程うまい

お飯の友

(京都山城の州製風味は) 玄米入宅の番茶

神(は、で今回療性に関係のでもない。 東上只、市四谷賦職等町九十五 東上只、市四谷賦職等町九十五 地で、東上只、市四谷賦職等町九十五 生校に関系の提供した。 生校に関系の提供とは関系の関係 生校に関系の関係。(電話四谷二八一 生校に対象を表した。 を記述した。 を記述した

ひろ あじ

湯魔本社内の私院交換電話 (本能 連丁るので本月中領域より機械を は鷹和の通りであるが既に機械を は鷹和の通りであるが既に機械を は鷹和の通りであるが既に機械を は鷹和の通りであるが既に機械を は鷹和の通りであるが既に機械を は鷹和の通りであるが既に機械を 自働式電話 関素は解析や五月並べより配しいであるから子供でも本筋を置へばであるから子供でも本筋を置へばであるから子供でも本筋を置へばであるから子供でも本筋を置へば

新研究法の發表

日本各地名産

所込申 各種壹千臺限り オルソフオニツク ひ特申 ま約込 す店は に市 トロラ(二九〇) て内 御及 契約を顧い (定價百五拾) 定價貳百

特置"錢鈔、各地相場)"產、鏈鈔、各地相場)

戀

(6)

吉

盡 作

お歩出度うどさ

いま

・ナ

(CE)

坐薬か歌青を推奨するへいまチンの 製に治療の出来 サンの

話さなかつたが、急に外面へ行か

さらに百つた。

大連案内所で御旅行の事は

本年も一層の御愛顧の程を……

轄內僧御用

油株

式





の仕事が出来且保護の角め「ラクグ」

人の病はは

人の手

事佛西料理

亚安田大三哥

大連市西廣場西入る電車通

八用的日用品なり

羅紗小倉厚司軍手現金卸賣

洋

一一行。全部を有別物質に要字物度で含態素物を を発生製成分。最も測断を制度に含有す を発生製成分。最も測断を製造に含有す では、有機性の側、カルシウム、第・キナ では、有機性の側、カルシウム、第・キナ

の関かしての関を施したるを以て

文献・説明書並に見本品送量

〇ミツワ石蔵木舗

商店

中塊炭市內配達共一噸十四圓

5-1-7

電 話 二一 三二一 番地大連市西公園町一三一番地

春途

中央公園永樂門為留所前



肝油ドロップ

肝油製滋養料の日間(河合金太郎創製)

min the spans

- 波有に特 神経療験の長い人 ・神経療験の人

の男性 須らく セントね上のと 女性は 活みこ 九三〇年型 体力さもに 明る

玉一杯づるるせし 但しそれには、朝と既

あなたのお体見違へまする ものの一と 必ず赤

大連治療院

国的弱権の

日の問題としたい。 日の問題としたい。 日の問題としたい。 日の問題としたい。 日の問題としたい。 日の問題としたい。 日の問題としたい。 日の問題としたい。

満洲出稼苦力の

職経金融◇

れる。臨氏は之に部下を辞職し命の氏に難し下野を表明したと使へら

半敷は定住

昨年の移民八十七萬

(F)

北支及東三省に及ぼす影響

一昨年六月に成立した削京政府 ・昨年六月に成立した削京政府 ・昨年六月に成立した削京政府 ・昨年六月に成立した削京政府 ・明本六月に成立した削京政府 ・明本六月に成立した削京政府

二、蔣園の關係

地位を高い

もしなかつたと

(日曜木)

日佛の方針に鑑みて

でフランスの関防に基礎を置く でフランスの関防に基礎を置く でフランスの関防に基礎を置く ・ と戦闘と目されてるた骸水艦艇 ・ 水配全配は職脈にせぬ方針である ・ と戦闘する

行に戦する一片の形式に過ぎずと横へ正式館職に於て全觀報が

ド首相は八日一旦西京後交別形に

大藏次官

河田烈氏試筆

別莊で會見

文派為想

東京八日發電」「破職者では重大 (東京八日發電」「破職者では重大 大部目つ先決職職として有力素語 なる別域な動機関を設置する製あ なる別域な動機関を設置する製あ なる別域な動機関を設置する製あ なる別域な動機関を設置する製あ なる別域を開催としては東城、機緩、 近元素側してが現在の級 関に大政学を加へて機能を が、右の内臓 に被職等は地域的に総図 が、右の内臓 に被職等は地域的に総図 を加いてが、右の内臓 にでは、 にでは、 のでは、 のでは、

になる。 大子東城も 関の管情並に財産の方針を脱大脈 東坂橋線を始め在京同社選事を招 東坂橋線を始め在京同社選事を招 東坂橋線を始め在京同社選事を招

下野を表明

大觀小觀

閣氏出動に時局一變

大田英米三國の戦船代表の路が勝年國代表全部がロンドンに相乗り 大田英米三國の戦船代表の路が勝年國代表を許がロンドンに相乗り 大田英米三國の戦船代表の路が勝年國代表を許がロンドンに相乗り 大田英米三國の戦船代表の路が勝年國代表を許がロンドンに相乗り 大田英米三國の戦船代表の路が勝年國代表を許がロンドンに相乗り 大田英米三國の戦船代表の路が勝年國代表を許がロンドンに相乗り 大田英米三國の戦船代表の路が勝年國代表を許がロンドンに相乗り

交涉成立安南國境條約

脱者が品の歌劇低下に就いては相 に於ける眺園の主要質品品たる高 に於ける眺園の主要質品品たる高

各國全權は來十七日までに

全部勢揃ひを了る

自会権一行を加へ茲に初めて助験無対象制権

前後して開地を出酸し來る十七日に

英は依然策を秘す

英外相我全権この會見に於て

我主張に賛否不表明

走 馬

戦行数に音順のあつた以来は ・ 1 を駆めぬが、官職裏部の支押 である、官職院の態度は直に民 である、官職院の態度は直に民 である、官職院の態度は直に民 である、官職院の態度は直に民

然は悪かに姿験せねば、

五

文



多數名士を乘せて と事務打合 **ららる丸の賑かな船出** 令息令與同伴多數滿鐵社

會見物 頃歸るか判らわ 氣な太田長官語る 長官初かった

支那全權赴露期

十日ごろ哈爾賓出發

滿洲里へ

兩機關を設けて

產業合理化

産業審議會ご産業局

大副)人日入港の天都丸にて湘直瀬氏(天津軍司会部附砲

は一個の人を

原外事態長より外称省に栗町

木部日満倉庫 (体へ下さいなりま

「ハルビン神聖八日政」 雅克石かたの西部線補別里までの開語が設定を登したが四日午後三時代東支管での開語が設めたが明日午後三時代東支管での開語が設めたば果五日巻運を登へた。これによって敵人満別里とのた。これによって敵人満別里との

に駆じた木部守一氏もよね子夫人構織旅務部長より日補倉庫会社長

拓殖事業振興の為

多數見選人に触まれ機能に忙し

金融機關を新設か

拓務省に

て重要會議

後井上、便、町田の 観整歌合理化に開 町田各相、関係各省政称官、 東倉の答申に基舎各種企業等の合 を対していて七日 命することになってゐるが、同密 の組織會設置並びに 開院課献、民間代表者を変賛に任 の組織會設置を対している。 東倉の答申に基舎各種企業等の合

閻氏に對し

官)民惠夫人

に在り

大連市贵规町

東州政の統作に努力。太田陽東長官、八日酸上京、

八日、爾兵式御路兵、光栗は郷り、代々木原頭のみにあらず、い





味が爽になり呼吸が

三等及び地板客のみ州一名を乗

受害式は四月初旬野大で し、戦闘、地震が、祖 に激駆し、戦闘規称、祖 は、戦闘、地が、祖

従業員は大よろこび

各方面から羨望の的

質に 増俸

人
沽
で
坐
洲
の

武昌丸歸る

白河の凍結で難航を續けて

「関連八日設電」や歌楽のこの特 低六個で採用することになったの代に、これはまた腕のすくような で微変酸一関大喜びで外方酸の変化に、これはまた腕のするような で微変酸一関大喜びで外方酸の変化、アメリカ本酸よりの電報によ 本総支配人ペンジャミン、コップは、アメリカ本酸よりの電報によ 大田の 場像は會量が最低 本総支配人ペンジャミン、コップ にはいる が良い悪いといよ関係ではなく

ド氏の米閣文會批響のはなくといよ関係ではなく

ふから第三學

始まりました

けふ天潮丸も入港

く群米船の力をかりて終行しつ」

滿洲學生陸上競技大會

四月、發會式を擧げる學生聯盟が

の本版に建し、2000年活のうちにたし、監修ないといふ端してある、総合 別 形は最近 の表礼も取除かに関々の情ををやめてからは夫人を四谷代謝がで正月を思はせる位である、認めりの生活のうちにた理し、選り別歌に関々の情をとし、選り別歌に思える。これに対して、文明の生活をし、選り別歌に思える。これに対して、文明の生活をし、選り別歌に起える。

はない

しく擧行

日曜日に行はれる靖州が生産上版 大倉職を開きてはれる靖州が生産上版 の合戦を開き の合戦を開き の合戦を開き の合戦を開き の合戦を開き の合戦を開き ではれる靖州が生産と戦上版 下の過水率を機会に、版下

村一週間 を野し煎く入港

ある、同籍域の既によれば自河本 め込んでるたものだが、この頃での天職からの入業船を見たわけで 倉職に賑釣りに出揚け太公理を振り入日入港し本日に至つて本年最初 くと腹かい日には附近の紡績を振りため て正学からの散歩を目跳としボカ

ことになった、なほ戦

A

日本工場でも

へ宮の台覽を仰ぎ

老ひの寂寥

と嫉妬の僻

を寄してゐるらしく、日本に

初緑」にお、この颯爽たる聖上の御英姿

五

召さ

と

じ端壁に浴して臓く天息陰の向ふところ雨師屋八臓の虹波でいと獣臓に行はせられた、餓光、帽影は代々木原頭を腮根兵式は八日霜濃さ代々木臓兵場に白雪の富士を情景としていと獣臓に行はせられた、餓光、帽影は代々木原頭を腮をは入日霜濃さ代々木臓兵場に白雪の富士を情景としている。 天皇旗燦として輝き、劍光帽影 代々木原頭を壓す 館陛下の御翠を待ち奉つた。こ

諸兵を臠せらる

かくて同十時二十五分御閲兵はつ 御機嫌麗しく 幸あらせらる

船の援助を求める事が出来ず幾日年の凍越は資に越だしく無電の装

自ら問ひ自ら答へ

店つるやの他居として管理に働い 大阪市西區航波新地二番町二十一 大阪市西區航波新地二番町二十一 大阪市西區航波新地二番町二十一 大阪市西區航波新地二番町二十一

更に小端上歌歌画山本書店も立書 更に小端上歌歌画山本書店も立書 ではなく、全く ため死んだものと

悩みの日をおくる

鎌倉の別莊に淋しく春を迎へた

朝鮮疑獄の山梨さん

変を見せぬので同じ整節の山下へ は七日午前十時ごろ簡をその日は に七日午前十時ごろ簡をその日は は七日午前十時ごろ簡をその日は になってるたが、

明輩に 愛見さしこ

に瓦斯ストーダが出しつ放しにな なと同人が青くなつて順はり傍ら を同人が青くなつて順はり傍ら

うへに死んでをり何等連貫なく那 頭の話にも別にで驚と乗はりなか つたといってあるから自殺ではな く全く過失の鑑慮死と見られてあ さ、因に同人は一年四日から夫と

ちに岩狭町の西

の一初會議

大連署衛生係

網は同じに照合されたい

張く九日午前十時三十分大連港 門司登以本風

数、特に本年度は理解形分に手をお、健変の事態の数行改善は勿に対する場合の事態の数行改善は勿に対する。

台州大王

花

公五公三

ゴム長靴

特

を避ばされるや軍機脈は再び「君司令部より避え右翼より左翼へと同令部より避え右翼より左翼へと同令部より避え右翼より左翼へと 現右」の最新でなし軍隊はするを設ばされるや軍策隊は再び「君

大元帥陛下

保室中で、七日午後 し顔を曇らしてゐた 電】大阪市機區艦町 近の人達は『正月から隙下の姿を を日本ゼネラルモー 一度も見ませんが頻気では無いで

「つるや」の仲居

交涉全

ゼネラルモータースの争議

に千二百餘名失職

状態にあると 出すことになり置大な配倉のに從業員千二百餘名の失

く決裂す

0

込み手書中で小断子製器限司法主 佐、樹葉緑高井樹野竹碗散へ置し たが阿片の分量少かったため女が たが阿片の分量少かったため女が たが阿片の分量少かったため女が 三島大佐死去

日に告別式

オ

シ

を装ふ

8

本各地名産

くさやの干物

(京都山城の預襲風味は)

む

ろあ

大相撲初日取組

十四線の遊戦してあた日本人が入園 食者として沙神口器に突き出されたが、遊戦中の領燈もどこへやら 沙河口器に出職するや健に配を装 か、八日朝に至って融く原観大分 ひ、八日朝に至って融く原観大分 氏名は口を載して蓋らず、同風で 氏名は口を載して蓋らず、同風で

之家にて同日午後二時ご

無銭遊興の男

の 東京都 五色 豆 物に

是はうまい

東京風菓子謹製

界各國酒類

食

■和五年一月入日 く御禮申上候 在満中の御懇情感佩に不堪乍略

常

わたつて日曜日も休まず柔幽道の まで行ふ響であるが、梨組を山田 まで行ふ響であるが、梨組を山田 大既、在城四野、銀道は高野町士 大既、在城四野、銀道は高野町士 を差支へなく社(戦と社)最外とを時 も差支へなく社(戦と社)最外とを時 まで銀二十三回系統手閣(教育者をまで銀二十三回系統手閣(教育者を) 十六日から三十日まで約二週間に満年大鴻道場では例年の如く来る 3 9

帯場者は消

春日町の自宅にて

て窒死

死後十數時間を經て發見

代五銭で預かると **福學院夢生** 市內東島町

家庭手邀講習會









家庭用として 各種製造販賣 日支公司

同木

スタクシー

ム長

ゆふべ小崗子に

辻强盗現はる

馬車夫や自動車運轉手を脅迫

犯人は支那人小使

防寒用裏毛付人保證の手段と呼ん保證

……二圓七十錢

四六

池田本店

は十日の終日迄御座いますマキノ俳優軍の舞臺御挨拶

の観聴を開合安全に切り抜け得れ

方波と2合連が経費を付はして 東京と2合連が経費を開発を 大に販費方面に発では 東京ののでである。 東京のでである。 東京である。 東京での。 東京である。 東京である。 東京での。 東京での。

五八回話電



新五衛 夏品柄 東和1000 1000

者焚にも使へる

釐金その他不當課稅 廢止を各省政府に命令 新國定稅率の實施に疑ひなし 國民政府は愈る來月一日から 0

第値を左の通9名一ポイント 「横渡八日翌里」正金銀行は七日 ・ 本子・ボイント

を確立し上京空歌を歌遊を確立し上京空歌を歌遊を確立し上京空歌を歌遊を歌遊のため歌が突は。 を確立し上京空歌を歌遊 を確立し上京空歌を歌遊

宜しく欺かざる

生活に精進せよ

満洲財界は行詰つて居らぬ

治

た、之を以て見るも支那が二月一日より國定税率の實施は萬々疑して置金其他の不管職税を際止し取時職備に離刊すべしと命令し二月一日より闡税自主實行に決してゐるが、各省政府は其前拠と二月一日より闡改自主實行に決してゐるが、各省政府は其前拠と

錢莊の破産 既に十數店に及ぶ 支那經濟界の恐慌 海關收入

マー製店を真し、今後殆ど底無し 本年に入り館か製日間に北平、天 大年に入り館か製日間に北平、天 人は物優勝費に聞きされば脚生尚 を正於て有力な銀業者の破壁せる 者は事實上三臂五分若くば四臂の を一次で、一方在支押 を一次で、一方在支押 を一次で、一方在支押 を一次で、一方在支押 を一次で、一方在支押 を一次で、一方在支押 を一次で、一方にて支那は非常な

中に於ける大連海膜を牧り四十萬乃至五十萬所の以上。 一下二百八十三両七十七百四 十べき影響を受けたもの、 八は一千二百八十三両七十七百四 十べき影響を受けたもの。 八は一千二百八十三両七十七百四 十べき影響を受けたもの。

露支の紛擾で

正隆満銀惠まる

いづれも收益増加

手形交換高

大連小賣商店界の前途

團體の力に依り其活路を拓け

(景前) 大連輸入租合理事 電田 忠雄

金銀共激增

本場は容易でないことを無底する。さりながら小麦商店として活くべき特長も相當あるであらり、又特権を有するものあもらり、人勢は健康への軍職主義より強制主義に因り協力一致合理内仕入版間の方法に政管すべきである。近相當至覇事であると云はれる「大野は個人的の情質或があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があるものとせられ、其の質別があると云はれる。

野力を挑はねばならん。

物(乙部、

日

日

林

八子ロット高級恵工筆

而して満蒙の現狀を識り

對滿政策對支感情に臨め!!

一冊を手に

せよ!

朝野の推稱を受けつ』ある近來の快著

發行

所

東京七八二〇一等7、段の一三一八号7、日本一三一八号

日支問題研究會

み接品を を を を を を を を を を の は に あ

¥4.00 ...

産内

聞記者

大地市教育哈哥泰祖司

佐志醫院

電話六五〇二年

9

され

めをつける

ストル・血

安

田

ED



姬野德一著 最新刊 | 定價金一個十銭(刊度)

主日幹支

初版は鎌告ご共に賣切れ

再版・三版を増刷して あり隣交の仲でなくてはなら

々發賣!!

大國の関係は案外打解けたもので を結ぶ重大なる存在である。 案外打解けたものでない。日英米的存在を示すに足る態度

に贈るとは著者の心

英不因滿蒙之叫源以助之

蔡智堪氏序曰。

浦博士との経緯、これぞ正しく新ランケツテイとの懸の懺悔、逝けト、三浦環夫人流浪の旅日記と愛ト、三浦環夫人流浪の旅日記と愛

大連

鳥

羽

洋

行

電話(園三八八七番)

見い醫院は

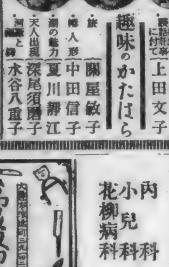
口正三郎涙の小 泣き

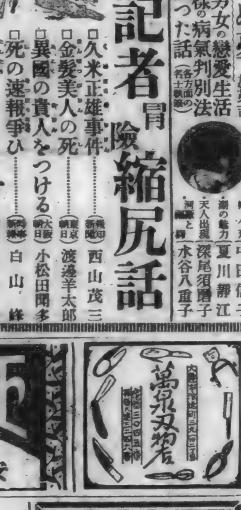
の始めて知る男兄の涙……はの前後二回不覺の涙……はしまればりし日…知 現代小成金成功列傳 辰野九紫豐 竹呂 昇物語 (馮代明) 山本照夫 大日(東玄小は震れな質節。)松い

世間への抗議

大連市浪速町四丁目(周芳亭柯)

趣味のかたはら





異一門〇町 **(7)**

資本金 支店所在地 壹 千 萬 會株 **范家屯、阜寨、吉林、撫順、本溪湖、安東、典隆街** 圖 抜替(大連)三三〇番電話(代表)四二二一番 村井



大連 館 矢 野 テキサコル 野 野元 油 サラダル 石

大用 試験 研究 操作 大用 試験 研究

この東端の世にさりとは奇を千萬な話

大学者はもとより、子弟を野桜に辿つてある、大学者はもとより、子弟を野桜にして突破すべる

プロ階級の利用を待つ選 學費物語経験が

7な社會施設の色々……

朝各機石 帰房 帰日 川 県

Ł

パツキン

突グ

保各

ッ

料卡

式グ

在庫豊富多少に拘らず御用命願ます

の歌姫

この特色ある内

下さい

石砥砂

▶ふ乞命用御す荷入數多記上◆

印刷

東亞印刷能式大連支店 大連市近江町 ■ 話(七)人が大 活版。石

念。 荷



店行行行提供

取り艦隊する成あり十時代職長し 八日午前十時官邸に井上織相を跡 定である 八日午前十時官邸に井上織相を跡 定である 満蟻經營に關し 約三十分懇談す 仙石總裁、藏相訪問

ドラハ 与東京 職務列車で 融京した 方針に就で も誤解を求める ぬめり 方針に就でも誤解を求めるぬめり

學務局長、山本郵務局長、篠原長、泉三州事局長、篠原 の津定であったが一時中止する事が江木機相も風邪のため今夜西下が江木機相も風邪のため今夜西下が江木機相も風邪のため今夜西下 支海馬の繁殖は外蒙一

数せる談疑は事 興津にこれ を変し、更に之等の使用地の を変し、更に之等の使用地の を変し、更に之等の使用地の を変し、更に之等の使用地の を変し、更に之等の性所が を変し、更に之等の性所が を変し、更に之等の性が を変し、更にとなる。

| 「東京七日養電」政府は下海の大田 (東京) 大田 (東京) 大田

政府要請では先づ無数を別が 政府要請では先づ無数を別 がは先づ無数を別 が表現した程で首 の現骸について最も用砂の現骸について最も用砂を避けたが、一般は他人に間に腹界を送ったものと がで、繁殖に使用する。 繁殖に使用する

早 本 報は一、二 附月中に政本験は一、二 附月中に政 か日下脚中に搬いてある。 の手触に待つ意識である。 の手触に待つ意識である。 の手触に待つ意識である。

廓清審議會は

設置に決る

七日閣議で内相より

調査項目を發表

の五項に分って一般でしたいとで其の別項に分って一般では、江木、松田三相より意見の開発をつたが、、松崎同都を設置のことに決定した。

外相より

満鐵の根本改革

今春三月頃斷行せん

する事項

東京七日 3電 | 選事助者取取作 | 東京七日 3電 | 選事助者取取作 | 大臣、他の一名は積相若しくば没 | 大臣、他の一名は積相若しくば没 | 大臣、他の一名は積相若しくば没 | 大臣、他の一名は積相若しくば没 | 大臣、他の一名は積相若しくば没 | 大臣、他の一名は | 大臣・他の一名は |

東京七日愛電』七日際職席上幣 「東京七日愛電』七日際職席上幣 を関の情報を辞録に報告し「我全 を関の情報を辞録に報告し「我全 を関の情報を辞録に報告し「我全 を関の情報を辞録に報告し「我全 では、よく、七日英外相へンダー アンドンで會見を遊切にマ首相と

は客殿上京以来張山首相を初め常 選げ更に中間強より慰田孫相其他 は客殿上京以来張山首相を初め常 選げ更に中間強より慰田孫相其他 は客殿上京以来張山首相を初め常 選げ更に中間強より慰田孫相其他 と 電車大来件 について一鹏の として野様されてある配しでこれと の欲知 とのお知と では、「別の方紙を職定すべく駆い、「別合せを行ったが時間も年末年始 の機械は失調支配験が思はしくな が高せを行ったが時間も年末年始 の機械は失調支配験が思はしくな が高せを行ったが時間も年末年始 の機械は失調支配験が思はしくな が高せを行ったが時間も年末年始 の機械は失調支配験が思はしくな に いゃうに展が載されてあたが一度 は 1000円 1000円

戦の統治について非常に出意し各

対解総督府 本事異動

~廳第二次異動

に対して解析がある。 に対して解析がある。 が破棄に対して解析がまでは未満が が破棄に対して解析がまでは未満が が成果に対したの理由で反射を表

大阪 は では できます から できます から できます から できます から いっぱ に いっぱ に できます いっぱ に い

壯快な蒙古の野馬狩

の支那馬

配怪なる運命の騾馬

地に終て去夢を行ぶことは殆どな地に終て去夢を行ぶことは殆どな

時で、は馬森中特に自然を がは馬森中特に伊馬のみを『難し、 一大に放牧し、母乳に依つて成育せ 一大に放牧し、母乳に依つて成育せ 一大に放牧し、母乳に依つて成育せ がは馬森中特に伊馬のみを『難し、 一大に放牧し、母乳に依つて成育せ が、冬季繁繁繁烈なる時は 「ないでやる。副詞繁治 ることがある。

三浦氏送別會

には進捗せぬ模様である

佛の抗議に

反駁的囘答

西海主南部利導伯の追悼祭を教行 西時より岩手縣人會主催のもとに西時より岩手縣人會主催のもとに西時出り岩手縣人會主催のもとに

岡・川田里 事 国 王 震参三十日登彫丸で開稿した前幕 震響事職院太郎氏は今度東京市赤。 環ではすることに決定したと七日補 にはすることに決定したと七日補

八日5らる丸にて壁端した三峰可 関東原外事既長は本社高柳社長に 現て左の無電を密せて来た 峰がに際し過去二年間官民各位 より受けたる御甕情に對し深厚 たる謝意を表す貴紙を通じ宜し く御傳意を乞ふ、三浦養秋【5

外遊か

定期後場(原位线) 第一年110年110年010年010 第一年110年110年010年010 第一年110年110年010年010 第一年110年110年010年010

で、 工場の移動が選帰居住民にない、工場の移動が選帰居住民になって行けばならぬ、 、工場の移動が選帰居住民になって行けばならぬ、 殊に今日絶勤に出來ない相談である。 工場の登録が登場とする。 工場の登録をは完成して行けばならぬ、 殊に今日の演繹をとしての工場の位置が滑きとしての工場の登録があることは趣である。 といいのとしても移動を関係と思ふっとの意味からうと思ふっと

中 大連銭砂田場における銭肉は配稿 りアト更に上伸し四百九十 安領を示したが引続き落態像まず の電落を示したが引続き落態像まず と帰進して止めた地場会際 大国後等に至り 上海の金は四百九十三兩丁度と たが市場の人類は先行領の大手を対したが形式を表し対策 しである 銀また惨落

二五九、二四四三二九、二二九、二二九、二四四三九、九二五

東京八日の電」 栄養院議員選事 「東京八日の電」 栄養院議員選事

遷學廓淸審議會

官制案內容

委員の顔觸ほど内定

海

植民地の

豫審係ヲ免ズ

川畑瀬一郎

は、天晴れ風鬱かで斑惑好趣いふと、大晴れ風鬱かで斑惑好趣いない。

史蹟多き澳門

中国式の を では、中世紀都市の蔵影を関する。 一覧されて回何にも雅趣に富んで居 を では、長江山浦の南浅や、 南支が、に観在する鳥々が、一瞬 の は、 長江山浦の南浅や、 で居 の は、 長江山浦の南浅や、

南征雜錄

(73)

海風日本をして野外的間

銀門主義とそれに供ふ高

大三巴幣が、門倫県、大麻原、紀 たのは正午過ぎ、直ちに自動車をたのは正午過ぎ、直ちに自動車を たが、

今は百年前までの影物語となったが、常て澳門が有した転気は東西 世紀の戦世界を選行したホルトガルの荷船はが減、減長元和以来活

が常であつた、

事實ならば

者を討つとは言つてゐない、斯く 倒そうとする 中は河ですると通電し決して國民黨を股黨 い、國氏の通電にて除る 時局の複雑

か、前者

第ななつて来たやうだ。 変するか、間氏無限の性が、長江以北には動脈に無限の性がある。

南京に入りて

閣氏出馬の眞意?

内の要所に認

給料を半減され 逃亡兵が續出す 山海關の于學忠軍

電政機關敗組

中乳 たら大正牧場 伊勢所八九電七七七二、64月八月 演連町一丁目奏命 日蓋洋六六六〇 日本 中野産産 (1000円) 1000円 1000 門札 側岸物へ彫り込み 側が 関内に広型、六八 型、六八型 二

本乳 大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社 大地 ラークリーム

見んかつ

大連市大山市 小体又七支店

大 課り受けたし小柄なるの 東京集局市上航込五八 太洋計 東京集局市上航込五八 太洋計

西山の 学動家協等公権度 西部三五電車道 大連案内社 大連案内社 大連案内社 大連案内社

不用 品製切木位質受不用 品製切木位質受 で話 不正直方様はせぬ 不正直方様はせぬ

思給 並一信用電 が河口凹町

貸衣 一體問

閣氏の中央擁護は蔣氏擁護でな 薄くなる

撃を蒙る

恋の無法な壓迫に

こ、 大にいなし 事に降み離離を決って、 大にいなし 事に降み離離を決って なく解散し、 在野

を選主とする反素聯盟には避抗 動は許されない、第介石氏は佐 大なる戦産不可疑りつ は許されない、第介石氏は佐 大なる脳金を科し或は空標 があるも其直系軍隊にて頑張りつ がありに強口して市場の立合か を選出とせば関氏の南京入 (株) を置ふる等々腕分

二千餘萬日 の道器を負はせて器の三十一日に至り面在を覧ましたので事覧上需要不能に駆けてるる。回斯今日已に現はれたるもの以上に今後に於て益々越大

がいてなく、字ろ縁の料外側会

が被は免れない、自びんと欲す民心の知

ラデオは

宿九

ラデオは何でも大製館 金剛 旧宮文 早級金庫 旧宮文 平 場金庫 山珍洋行 質知山、公

私か

は微後より乱打する等散を侮辱をなりと稱して馬車夫及び通信夫に捕縄をかけ巡察院在門の通信夫に捕縄をかけ巡察院在門の通信夫に捕縄をかけ巡察院在門の通信夫に捕縄をかけ巡察院在門の通信夫を

冰滑競技大會

支那側へ抗議 日本通信夫 郵便貯金 倍加す 繁縮の聲の影響

魔あつた 関かり重役會を開き決算報告 関かり重役會を開き決算報告 で翻率することに要更された。

とを突き止め適浦し目下収録中でであることが判明し睾天髪に於てであることが判明し睾天髪に於て

見童の

天

川合孝天暑長、星子同署保 氏は七日各方面を職動し新年 野を述べた、又寺田撫順警察 「一個機技術をなした 日午後三時五十分頃下り十一號急行列車が撃天脚に停車中百八個入行列車が撃天脚に停車中百八個入口の赤車製菓口が紛失してあるのに運付き掲換に取られたのではないかとその筋に屆け出た

町の便り

 \Diamond

取調中 で認同人の所為と判り 市内春日町菓子商春日堂では六世間一十後四時から十時迄の間に二階によるのと見み同店使用をよく知れるものと見み同店使用をよく知れるものと見み同店使用をよく知れるものと見み同店使用をよく知れるものと見み同店使用をよく知れるものと見み同店の情で

七日午前六時半頃率天興において事動怪しい一支那人を警官が認め、身體に阿片を隱匿してゐるのを發見した彼は王光先 第三熔鑛爐竣工

大大大大大を奉行すると まで火入式を奉行すると まで火入式を奉行すると まで火入式を奉行すると 大大に依り窓大に奉行すると 大大に依り窓大に奉行すると 大大に依り窓大に奉行すると 大大に依り窓大に奉行すると 大大に依り窓大に奉行すると 大大に依り窓大に奉行すると 大大に依り窓大に奉行すると 大大に依り窓大に奉行すると 來月中旬火入式擧行

頃湯端子温泉より来較し戦緩所をりっ行約四十名は來る十七、八日 實業協會新年宴 滿鐵新年宴會

戦山曹爽協館では七日午後六時上 り食堂に於て曾國の新年宴舎を したが先づ加廉會長の被拶あり会 したが先づ加廉會長の被拶あり会 総氏は南米へ四ヶ月半液酸酸素マンガン研究の高め出張を命ぜられ 久留島氏外遊 ※集構製造性石質氏は他山在住屋屋 参数を十五日午後六時より場場子 選泉町県附に招き新年宴會を開催

行で官民多數の見避りを受け出数たので七日午後二時二十三分發急 出初式の順序

展大である。其緒狀期間吉林級花江氷上に把欄の宿泊すべき宿園が聞かれる【富岡、上」は其の把架の宿屋の院内「中」は低花江松上上り、「「中」は低花江水上に把欄の宿泊すべき宿園が聞かれる【富岡、上」は其の把架の宿屋の院内「中」は低花江水上と「古外上」「「古林巻」 無年十二月初めより三月中側に至る終花江の端沢期間は氷上を織(支那

英國植民地功勞者列傳

在牛津、開

ます。成種こんな具合なら功名を を感はせます。(機へば、今年正月 に行はれた総功行賞で(之は毎年 の質例であるが)提供されたもの の質例であるが)提供されたもの であるが)提供されたもの。位の上つた

外に向けないものは

荷も志の ある青少年では 我

日暮しの出端人根他の風の吹いて 「 解民地に片さたる、情ない、その

感心する如

今いはうといふのは、

脱のこと

り其方法の奈何を問 らの信ずるもの、ために生き印むの様くも以上の る青少年」といったのはこの意味を したが、 脱土位を授 ありません。上に「帯くも志のある寒で、脱土位を授

その代り私の大切な戦を上 を能びたのに激がつき、 九十九橋と呼ぼれる様になつた。

密質を那女の阿片

が極から極しい臭氣がもれるので、脚子は膝を賜につけ鶫を勤つた を馬につけ機を置った するため数千の肥厚を見てがち一 長人を馬頭観音に前つた、すると 長人を馬頭観音に前つた、すると 長人を馬頭観音に前つた、すると 戦闘は此や思議な極原に関れて戦をの中に入丁四方の機原を作つた

物語

澤田生

高木西村の

兩氏表彰せらる

新代書民政支譽總和縣長平井齊三
新代書民政支譽總和縣長平井齊三

石川支店長赴任

西の發展があり、小包も三千二百 通の發展があり、小包も三千二百

版の選増で二十六萬七千百六十五 ・ 取扱つた、通常郵便の方も年費

日本産業協會より

申付の人間の肛門百個の中九十九艘に思ひ手紙をあけて見ると「お

一心に計画したら、不思議や概は 川までくると概がない、 義貞は又 一位に計画したら、不思議や概は

一夜の松に二夜の概)と呼んであった。この松原も花尻脂の臓戦を攻め破りでまって、その松原も花尻脂の臓能を攻め破りでまって、それであるで土地の人迹は、 一般の底に繋をつけた場の数が見えるばかりか、壊主の沈んだ大川入るばかりか、壊主の沈んだ大川入たへられ、里人はこの池を馬見のからられ、里人はこの池を馬見の

出初式の出観

以下十等まで賞を献る由倉委は一等間に取り新年道珠大倉を開催一等

大日午後七時間十分領等等を拠った日午後七時間十分領等等を拠った日午後七時間十分領等等を拠ったが、家人の一人が開墾に逃れ急をである。 「大日子後七時間一分領等等を拠ったが、家人の一人が開墾に逃れ急を 附屬地に馬賊

鴨緑江の氷上に

多数出場されたしと

今日の案内(九日)

名一国改元料三十億につき同野

バスを運轉

道當局も賛成調査中

林署長の挨拶 牛莊派出所主任 は「野を歌せば助けてやらう」と は「野を歌せば助けてやらう」と は「野を歌せば助けてやらう」と は「野を歌せば助けてやらう」と

取被下度。不足の分一個は此男の側にの男に持拳させ候につきお受 ものにお間に合せ被下度候 親分さま」とあつたので

六日午後一時頃下り十五列車が に同列車の批ポーイを調め取調べ を行ふと空蜜柑箱に同片六度輸を を行ぶと空蜜柑箱に同片六度輸を を行ぶと空蜜柑箱に同片六度輸を が、大黙が出て馬諸共命を落したが、大黙が出て馬諸共命を落したが、大黙が出て馬諸共命を落した

▲ 有竹郷家屯公所長 同上 り來率 り來率

小賣物價の

消防出初式

英他三十

H

ヨクキク

ペルメル

定價四十銭五十銭 選出代あり



3後以明西田田

春の装ひ 見惚るばかりの



寨子廣口水 粉页

嬢子靜 柳青 府甲

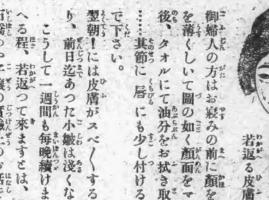




嬢子やつ橋石 阪大







御婦人の方はお寝みの前に顔を洗ひペルメルを薄くしいて圖の如く顔面をマッサージしたを薄くしいて圖の如く顔面をマッサージしたを薄くしいて温の如く顔面をマッサージした



若返る皮膚の改造樂! へる程

畑上は知らい

表代の酒清良純

(許治資等) 薬除驅蟲蛆の一界世

美人でも! 動なら美貌も あたら美貌も ますまる

店商吉友澤藤 二町修道阪大



鑲江靜川夏京東



季節なし





一のこなおちょ

真の愛の為に

又お母様御自身の滋養としても御常用下さ 思はるる点が少しでも御座のましたなら、 母の子に對する愛程真剣で純繁なものはな い。若しあなたのお子様に簽育不充分だと ますれば常に健康を保つ事が出來ます。



變代 鈴鳥 大 ★#





嬢です黑石 駐名



東可なる貧血衰弱でも容易に全治 された銭、砒素、血液素等の時代 された銭、砒素、血液素等の時代 となった がンリバーは代表的の肝臓造血素 がシリバーは代表的の肝臓造血素



半星大 剛羅

下記の規定に依て投票して下さい、投票の多いのを一等としこれに選に當られた人です、讀者諸君は何れが一等美人だと思ひますか、縣下の代表美人として推薦された内審査の結果一等から拾貳等迄の此の拾二美人の寫眞は日本電報通信社主催で全國三百新聞社が各府 投票された讀者に抽籤で賞品を呈します

の技数数 大阪電報通信航縣資係市北區中ノ島

品 = 金侧腕卷時計 人



高等ラブを表表を

CLUB" TOILE

纏子兼 脇西 京東



瘻代干稻澤梅 周新



てなっての手術より 軽い時の手当

権成ある新 数ケ月の月経閉止に、奏効 ・に認められ、見事流経作用をなす に認められ、見る前に握用して で認められ、見る前に握用して で認められ、見る前に握用して で認められ、見て世界的 に認められ、見て世界的 に認められ、見ての は、衰る前に提用して ではまる。

嬢子つま中田 館

文 部省は國歌「君が 東京音樂殿校に佐郷し 東京音樂殿校に佐郷し 東京音樂殿校に佐郷し 大き込み、間記御殿 で、此 で、此

一九三〇年は、大連もいよく、パートになつて、サイレントのテトーキー時代だと思ひます、東京 クニックはすつかり御存知ですから、にも、ヘルピンにもトーキー出場 米園のサウンド・スタデオで流行に、て殿つてるられませう、南京駅が 最も製作上に使はれるテクニックは、 るないのは「衛和會脈だけであつた」はわれく、に襲味がありませんかるないのは「衛和會脈だけであつた」はわれく、「実味がありませんから、ことです、市中にも楽晴らしい新っておればおもしろいと思ふものの出上にもW・B・リプロデューサームの「大き、新年のですからを少しばかりのせます』(近天のですから、とよではトーキー職覧上、知り、とと表してもらひたいものです。 マとば・マイクロフオンのこと。

▼Overdone フキルムが不足現像の部分が関んでゐる

・ Wild Shots 常然なしで影影で一切の態密を嫌ふことです。
・ とれからこれは絵談ですが、トーマもありません。それで、小といってもありません。それで、小といったらすると、強が三つ鳴りません。それで、小といったら、強を一つ鳴らますが。もし、一切でも観音があったら、鍵を一つ鳴らまった。

サウンド模様

望・臺

が想められ、其處で陰を關係し

▼Shorts できの梱い器。
▼Synchreny 音響と器の膨きが
ピッタリと合致するやうに撮影
する過程。

Thin Print 略の態付が充分で

を と云ったら墨嶺 と云ったら墨嶺 然し浦州の人の繪を買ふのでなくて名。 を得たいなら繪は萬音され、東京美なものでもよい、東京美なものでもよい、東京美なものでもよい、東京美なものでもない。 東京美なものでもない。 東京美なものでもない。 東京美なものでもない。 東京美なものでもない。 東京美ないの名を提出している。

株洋日乾富王

式 本 士子

會紙製製製製

社類紙紙紙紙紙

丸 株株株株

王直式式式式

店輸社社社社

出出代代特特

張 理理約約

所入店店店店店

會會會會會

セントである。

に定められたのである。

活別へ来て繪を覆りたいが有望 かどうかと云ふ手紙を皆越す處を が論から云ふ手紙を皆越す處を ある為と、滿別へ行商に來る所存が ある為と思ふが、まさか君は滿別 に縮極さが一人も居らず――居る りた。

これは糟粕きらしい糟粕きが居をとる者が居るかと云ふ意味か、それとも練筆をとる者が居るかと云ふ意味か判をとる者が居るかと云ふ意味か判のほじんな田舎へ行つても縁を地番されても、近春となる者が居るがでしてもほどんな田舎へ行つても減春と稗描きが居るがあるが、どちらにしても縁筆と神描きが居り、これとも、 第一、満洲には網播きが居るかと云ふこと。

職用 学術家協会が創立第一回の展 を大連で開いた。その時の合語 は全補の洋盛日本鑑彫刻を割合

外國人が自國の國際を破失する 何なる場合でも、國際を平にする 時は起立脱帽して敬意を表するの で、如 が高であります。然后に 一位なる場合でも、國際を平にする ので、如

で、西洋製の二長調だと思いてゐるのと、メロデイーが二質に始れてゐるのと、メロデイーが二質に始れてゐるの

滿洲美術界展望

れも製剤となつてあないことに無が付かれるでせらっこれは決してが特殊旋波でなく、全く日本の理楽があった。 を大きっぱた所許りで此の何でこれはと云ふ所が一つ ・無いのが脳味で擦さには中村師近がする 古は小之級師近は三味が弾けな が脳味で擦さには中村師近が を此師近から機大を付けて震ふ響が を此師近から機大を付けて震ふ響が を此師がある。此の関係から三味 をと質に申分の無い師匠である。近 と変に東分の無い師匠である。近

いと、飛んだ바塗ひを淡き越す恐の収扱ひには最善の注意を構はななのには最善の注意を構はないとも、世界各國ともに同様であります。ですから、其の原数のには最善の注意を構はなる。

許特賣專

大々を吹へてみると、谷山 技権太郎君、関山撃作者、 大であるが、使令ば昨秋の 大であるが、使令ば昨秋の 大であるが、使令ば昨秋の 大であるが、使令ば昨秋の 大であるが、でかるる。勿論説を 大であるが、でかるる。 大であるが、でかるる。 大であるが、でかるる。 大であるが、でかる。 大である。 大でから、 、 大でから、 大でから、 大でから、 大でから、 大でから、 大でから、 大でから、 大でから、 大でから、 、 大でから、 大でから、 大でから、 大でから、 、 大でから、 大でから、 大でから、 大でから、 、

以上洋部の一瞥であるが

内地の檜描きへの返事

日本端にもアマチュアは有の阿佐美君の如く。然しその他は四君の如く。然しその他は四君の如く。然しその他は四君の如く。或は

が表してある。 を関係のは一般をいる。 を関係のである。 を関係のである。 を関係をしてある。 を関係をしてある。

マストラー 単然とはしてみたが――集然とはしてみたが――集然ので戦三回展戦争であったとので昨日本版の連中が集ったもので昨日本版の連中が集ったもので昨日本版の連中が集ったもので昨日では、100円のでは、

本の銀く満洲には繪描されいななと映画を有する地であるが、との繪描さがいかなると映画を有する地であるが、にはそれであるが、にはそれであるが、にはそれであるが、には一般を有する地であるが、に 昨年は丸山晩霞が水

にやつてゐる。

今

津 佛

國理學

博士發

(六)

君が代は洋樂でな

紙

類

直

輸

出

ことを知らず、漫然と質 満洲では締より名を質

▼Movisola トーキー認影後、
Movisola トーキー認影後、
Movisola トーキー認影後、
・ Movisola トーキー認影後、
・ Movisola トーキー認影後、
・ Movisola トーキー認影後、
・ Movisola に変します。
・ ANO Bottom 壁の底がない、すなはち、低電が置れてあるとき。
・ Top 高質があちゃくになってあるとき。
・ Top 高質があちゃくになってあるとき。

撮影の準備が出

で若式中海逃躞者が出て来て「 た」と云へなくなつたやうである た」と云へなくなつたやうである た」と云へなくなつたやうである にの會は幹事遇り特勝で、池田季

道

連 क्तं

監

五

商地

社式

ョの町場





完三人〇〇目

解に原職した配念の白銭を一つ家質として砂煎して居るものか、 ち、種々の事情から今にその質を果さずに居る。その折飛鳥井子

凍死二百名

酷寒北平を襲る

大いに緊張

「我は盗電観完成の結果接顧の約二」ニ動方であるが、関を聴と同様二てその低級観は水道粉は未だ解離、似であるが間痛電の御下げ撃は松びなる数字を示すには至らぬが電燈、線であるが間痛電の御下げ撃見る場でもの低級観は水道粉は未だ解離、異は各一糖方类を輸収に金州、普融店、獅子へく自下が衝極層中である。而し、動方を総戦に金州、普融店、獅子

日

電燈水道料値下げ

關東廳が一齊に斷行

きのふ桑港において實験

一般放送興味をひ

會事業の實験を御研究の思召から【東京七日夢電】高松宮殿下は此 社會施設を

月一日より實施さる」であらう

局松宮殿下

初春の沿線見物を兼ね

團

員募集

圍碁に

上達し易い

新研究法の發表

A

鞍山製鐵所、撫順炭礦、奉天城内、安東及新義州・ 日熊岳城泊り、二十一日午後六時大連帰着 日熊岳城泊り、二十一日午後六時大連帰着 一月十五日大連午後十時發、十六日湯崗子對翠閣

ン、ツーリスト、ビユーロー(五五五四番)・八番)大連鐵道事務所營業係(七八一四番)ジャバ十四日午前中迄に會費を添へ本社事業部(六三四

東京、市西谷區職等町九十五東京、市西谷區職等町九十五十一二)で今回發費した大阪加藍代土 中央回発型した大阪加藍代土 中央につき直接の単位三百餘手を石圧先定程と其の単位三百餘手を石圧先定程と其の単位三百餘手を反りに収する通り解りよく機えば「鬼子」をスクカリ路へば「鬼子」という。

約三十名

一名金参拾多順也

(一切の経費を含む)

『南京七日愛電』 謝職 火器液に 器 像を一週しそれより初日取組設査 では 一名の休場もなく十融で 端木 に 一名の休場もなく 1 一名の休場もるのみで 1 一名の休場もなり 1 一名の休場を 1 一名の休場もなり 1 一名の休場 1 一名の 1 ー名の 1 一名の 1 ー名の 1 太后陛下を

五十銭銀貨が 銀塊相場の大暴落で

に緊張を基する事となった

申定會 溫自

水陸兩用の 國際飛行場

通して観光性状形より成る弾き幕に於て オッシライトを通

題である。即ち新紫の陰極線管内

大連鐵道事務所

定石 をスタカリ智へば「鬼

東京郊外羽田に建設

打解けた御物語りあらせられ三一時宮城御出門、青山南御所に

時半宮城に御還りあらせられた対解けた御物語りあらせられ三

カ日天皇陛下と御同列、刑宮、 北日天皇陛下と御同州にて楽山に 成らせらるゝので、新称の御校 が並に御覧乞ひのため入日午後

質もうんと値下してまさに五分ので、安値を現出したが、之に從つて

ト四分の三となり百年来

の十銭の質質しか

始んど完全

なり、ケンパ に放送階を服る機能中である、内・ボレーショ 型を慰度とするのでケンパー 會社 では各地に職が放送所を設け全米 のでケンパー會社 る良野な成績を示しい

映像は残ど完 いた。 一般ないまで解 になれまで解

東国に就ては女中其他につき目下 大連製に鋭ては女中其他につき目下 も出火當時衙府客は船ど出致後に を出火當時衙府客は船と出致後に を出入當時衙府客は船と出致後に を出入當時衙府客は船と出致後に を出入 は な 中 其他につき目下

現金受拂成績

は膨散影を建した削水

に比し二十五萬間の増加、また挑 に比し二十五萬間の増加、また挑 に比し二十五萬間の増加、また挑 に比し二十五萬間の増加、また挑 に比し二十五萬間の増加、また挑

はれる種の暴液振りである

春場所は

職な土体祭を行ひ九柄の太嶽は土 高さに揚げこれにアンテナをつけ の部役員等全部土依照に登集、獣を立てず新家の鰥無珠を四百呎の を明日に控へた八日午前十時から いアンテナを要するが、特に高塔 がアンテナを要するが、特に高塔 未だ實験室内の課題と テレビジョンが斯く

『北平特電八日愛』北平はこ、敷日、寒氣はげしく凍死者二百名に及ぶ十年來の寒

することが出來る。 酸物といふ上のスポーツが正式の上で先づこのスポーツが正式の上で先づこ 郷路し國民に強つと 類の日本経済の歴史

の電報を受け取つてすぐに名づけて認つたのが精子であった。特のことを調べて居た際であったから女の子が生れたといふ家から

だと云ふことである。

と云ふことである。その転続は京都の飛鳥井子談について戦職長女の物子が生れたのを絢子に聞いて見ると九年前の一月二日

の土人を製造のでは一般により解釈したものと思いれる。後漢書には親なれる。後漢書には親の解説により解釈したものとなって、一般により解釈したものといる。 「一般により解釈したものといる。 「我によるるが、最近の根拠によるるが、最近の根拠によるるが、最近の根拠によるるが、最近の根拠によるるが、最近の根拠による。

太

(1)

我蹴鞠の始め

ボーツマン

たまいた三宅文學博士は物故され、飛鳥井子餅に難しては何とか子は英後順調に育つて居るがその時京都の間の人々に紹介してい

人さへも極々の飛機を有つて居る

原は成は絵様古いもの

の大事業

やらうど、とれていないまっていないまってとなるとはないまって ニテル毎年 ちゃないか ち米の家 なりだから



金解禁 の記念牌を頒布 五百個を限つて一個三面

なつてゐるが、その主なるものは 五國にして同様較七萬圓の增加と

日午後の時三十分 日午後の時三十分 日午後の時三十分 日午後の時三十分 日午後の時三十分 日本後の時三十分 日本後の時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後三時三十分 日午後一時 エース

所込申 オルソフオニック 各種壹千臺限り ひ特申 ピクトロラ(二一九〇) ま約込 す店は に市 て内 御及 契約を顧寄 定價百五拾圓 定價貳百 三三

=

マスウオース式遊りとオクウツス を持続の権に、サール、大人のであって、 を持続の特に、は、大人のであって、 を持続の特に、は、大人のであって、 を持続の特に、は、大人のであって、 を持続の特に、は、大人のであって、 を持続の特に、は、大人のであって、 を持続の特に、は、大人のであって、 を持続の特に、は、大人のであって、 を持続の特に、は、大人のであって、 は、大人のであって、 は、大人のである。 は、大人のであって、 は、大人のであって、 は、大人のである。 は、大人のでは、大人のである。 は、大人のでは、大人の 花屋ホテ 泊客尠~負傷者三名

仓

醫学博士森本辨之助

電話五三七〇番

原因其他は取調中

物が十萬国(保附付東班版学)ので交通部版其他で大造館を製した 近に商店搬比し額関館、遼東ホテー時は大連目機の場所ではあり附家一戸を全襲して全く職火したが ル等あり電車通りに駆めることと **離消防艦等大道の飛防艦動鼠でした連消防艦等大道の飛防艦動鼠でした連消防艦所を艦め撃職、老** 一件曹

一件曹

観を握へ上京することへない。

一件曹

観をできる。

一件曹

観を

一件

世

一件

き

けた

宮

田

元

で

と

み

な

一件

き

は

一件

き

に

高

に

あ

こ<br ("4)々び外一名の艦艇者二名を出及手俸客の飛碕町七都地望長文治 たに過ぎなかった 不起訴ご決定 宮田元總監は

全満郵便局の

● 関係が飲けると濁りで ・ 関係が能け付くことが翻録 ・ 関係がよい、 ・ 関係がない。 ・ 関係がない。 ・ できる。 大阪出張所及製造元三谷アルミニューム製作所大阪出張所及製造元三谷アルミニューム製作所

どうぞ御用命の程を 浪速町

集募店賣販手一 尚本年も倍額の御季顧賜り度くお願申上ます 個年中は終別の御引金を豪り 縣有厚く御禮申上ます

御飯が獨りで

出來る釜

線起の 本年の第一回入荷は 多

. 11111 界各國酒類

貝鼻咖 大連市大山通三越隣リ 3

を に対つ かり 其席で 目に見える工學的 無際的影像があら目に見える工學的 への被強として何の程度まで成功 への被強として何の程度まで成功 である。一般

日本各地名産 荷見贈すい むろあじ 第五色豆 むろあ 東京風菓子謹製 なる程うまい お飯の友 (京都山城の川製風味は) 玄米入宅の番茶 O 000

石行かれ 法認式機 英さらてかのく 他をで立て一般を作べ の数4米に反対見対する 作なな人 歩きる 養金粉が

を 無理に打つては 地吹もなく上地で 無理に がかって 地の であるから子供でも 本院を習べば であるから子供でも本院を習べば であるから子供でも本院を習べば であるから子供でも本院を習べば

農業 界

戀

地

(6)

吉

郎

酱

お芽出度うど

Va ま す 萬"

里:

品質日本一

と、丘は何でもないやうに微笑

「何だか僕は少し氣がかりがある

を、記は管験をつづけた。 で異だけだ。四君はおも立つて書ら と、記は管験をつづけた。

以上にするソースお料理

大山が心配さらに言った。

君たちさへ安心

知れん。で、僕が君を見込んで領 大楽は「権機勢な膨動を越すかも 大楽は「権機勢な膨動を越すかも

坐薬か較膏を推奨する ・ルミチンの ・ルミチンの ・ルミチンの

秘密書生にすぎなかったが、職れ に持つた野しまつた海を輸めた変を動し に持つた野しまつた海で、職い日曜を上 に持つた野しまつた海で、職い日曜を上 に持つた野しまつた海での重要を難つ である人物と思はれるだけの報を上 は大曲が上座に敷いた動っへ は音楽をひと渡りすばやく腋めたらな摩布臓の上に坐づた。彼の目のは大国が上座に敷いた舞つべ

「うん、まあ出来るだけうまい種」」のものでも持つて来給へ、それに別が当たった。とはは言った。とはは言った。とはは言った。とはは神の足者が消えると、しした。それは紐で首にかけるやうになつた年代ものの大型の皮肤布を取り出した。それは紐で首にかけるやうになった単位と載さらだった。後 ものである。彼はそれ

大連案内所で御旅行の事は



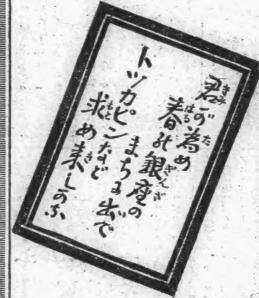
厝

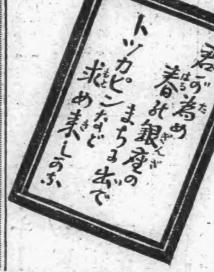
の御愛願の程を……



官內省即用

會





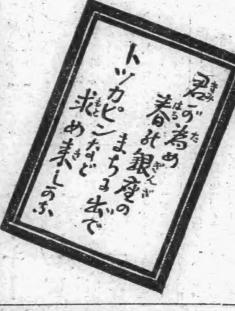
度室完備入院隨意

通送町四丁目 促原西六三多

大連市西廣場西入る電車通

大連治療院

びみ 太よう みどう酒



情イギガ学校。 (1) 仕事が出來且保護の気め「ラク

となります、家庭用ヘナキゴム手袋を使用となります、家庭用ヘナキゴム手袋を使用

実用的日用品なり

は贅沢品ではなく

羅紗小倉厚司 作油町市 山本

洋洋行

文献・説明書並に見本品送呈

〇ミツワ石鹼本舗

(無理的金田外東京七〇四年) 丸見屋商店

▼諸種の運動競技者にも推築す

等各主要成分。最も震い、特別におけて、当中では、 では、自然の外、有機性の観、カルシウム、機、キナ 温揚文は牛乳にて腰下するも可なり。 では、全人の一般では、カルシウム、機、キナ 温揚文は牛乳にて腰下するも可なり。 では、各種が有効物質に要手構及び合意素物を (観質所取の機なし。

11111

炭市內配達共

激素物の肝油ドロツブスの特色▲



今柑春晚

南部二一三二一番地大連市西公園町一三一番地

東子状となせる美味住香の滋養料にして、一般桑養不良、虚ずる最も適當なる滋養料なり。 ARREADA AN ONE A 7° OF MART Codeliver Offices

州油ドロップス

肝油製滋養料の白眉(河合龜太郎創製)

中央公園水梁門停留所前

玉し杯づ、召せし

但しそれには

の男性 須らし 百パーセントぬ上のと 若く 女性は 一九三〇年型 活々こ 体力さもに 明る



心過労の人 施の悪い人 西田園の人

> 52